Cisco IOS セキュア シェル（SSH）サービス拒否の脆弱性

High

アドバイザリーID： cisco-sa-20080521-ssh
初公開日： 2008-05-21 16:00
バージョン 1.1： Final
CVSSスコア： 7.8
回避策： Yes
Cisco バグ ID： CSCsk60020 , CSCsh51293 , CSCsk42419

CVE-2008-1159

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOS のセキュア シェル（SSH） サーバ（SSH）実装は非認証ユーザににせ の メモリアクセス エラーを生成するかまたは、ある特定の場合、デバイスをリロードする機能を与える多重 脆弱点が含まれています。

IOS SSH サーバはデフォルトでディセーブルにされるが、使用は Cisco IOSデバイスの管理のためのセキュリティ上の推奨事項として強く推奨されていますオプションのサービスです。 SSH は IOSデバイスの初期設定の AutoSecure 機能の一部としてまたは手動で動作する、AutoSecure 初期設定の後で設定する、ことができます。 SSH はデジタル証明書のための http セキュアサーバか信頼ポイントが設定されるとき RSA キーがのような生成される有効に なります。 SSH 接続を許可するために設定されないデバイスはこれらの脆弱性から影響を受けません。

よくある脆弱性および公開（CVE）識別子 CVE-2008-1159 はこの脆弱性に割り当てられました。

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080521-ssh で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

ある特定の 12.4 ベースの IOS リリースを実行し、SSH によって管理されるために設定される

Ciscoデバイスはこの問題から影響を受けるかもしれません。

IOS セキュアシェル サーバはデフォルトでディセーブルにされます。 SSH が有効に なったかどうか確認するために、**show ip ssh コマンドを**使用して下さい。

```
Router#show ip ssh
SSH Enabled - version 2.0
Authentication timeout: 120 secs; Authentication retries: 3
```

前の出力は SSH がこのデバイスで有効に なること、そしてサポートされている SSH プロトコル 主要なバージョンが 2.0 であることを示したものです。 」がディセーブルにされるテキスト「SSH 表示する場合、デバイスは脆弱ではないです。 IOS によって報告される SSH プロトコル バージョンの有効値は次のとおりです:

- 1.5: SSH プロトコル バージョンだけ 1 有効に なります
- 1.99: 有効に なる SSH プロトコル バージョン 1 互換性の SSH プロトコル バージョン 2
- 2.0: SSH プロトコル バージョンだけ 2 有効に なります

IOS の SSH バージョンに関する詳細については、次の URL をチェックして下さい: http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/12_3t/12_3t4/feature/guide/gt_ssh2.html。

SSH サーバはすべての IOSイメージで利用できません。 SSH をサポートしないデバイスは脆弱ではないです。 影響を受けている特定の 12.4 ベースの IOS リリースのためのソフトウェア バージョン および 修正 セクションの修正済みソフトウェアの表を参照して下さい。

Cisco 製品で稼働しているソフトウェアを確認するには、デバイスにログインし、**show version** コマンドを発行してシステム バナーを表示します。 Cisco IOS ソフトウェアは「Internetwork Operating System Software」または単に「IOS」と表示されます。 イメージ名は「バージョンに」先行している出力次の行のかっこと IOSリリース名の間で表示する。 その他の Cisco デバイスには **show version** コマンドがないか、異なる出力が返されます。

次の例は IOS リリース 12.4(17) を実行する Cisco製品を指定したものです:

```
Router#show ip ssh
SSH Enabled - version 2.0
Authentication timeout: 120 secs; Authentication retries: 3
```

Cisco IOS リリースの名前に関する詳細については、http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html を参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

IOS が稼働していない Cisco デバイスは、この脆弱性には該当しません。

有効に なる SSH サーバ 機能を備えていない Cisco IOSデバイスは影響を受けていません。

IOS XR および IOS XE イメージは影響を受けていません。

次の IOS リリース トレインは該当しません。

- 10 ベースのリリース
- 11 ベースのリリース
- 12.0 ベースのリリース
- 12.1 ベースのリリース
- 12.2 ベースのリリース
- 12.3 ベースのリリース

12.4(7)、12.4(13d)JA および 12.4(9)T 以前の IOS リリースはこの脆弱性から影響を受けしません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2008-May-28	これらのセクションのコンテンツ の 変更: 要約、脆弱性が存在しない製品および不正利用事例と公式発表。
リビジョン 1.0	2008-May-21	初回公開リリース

利用規約